

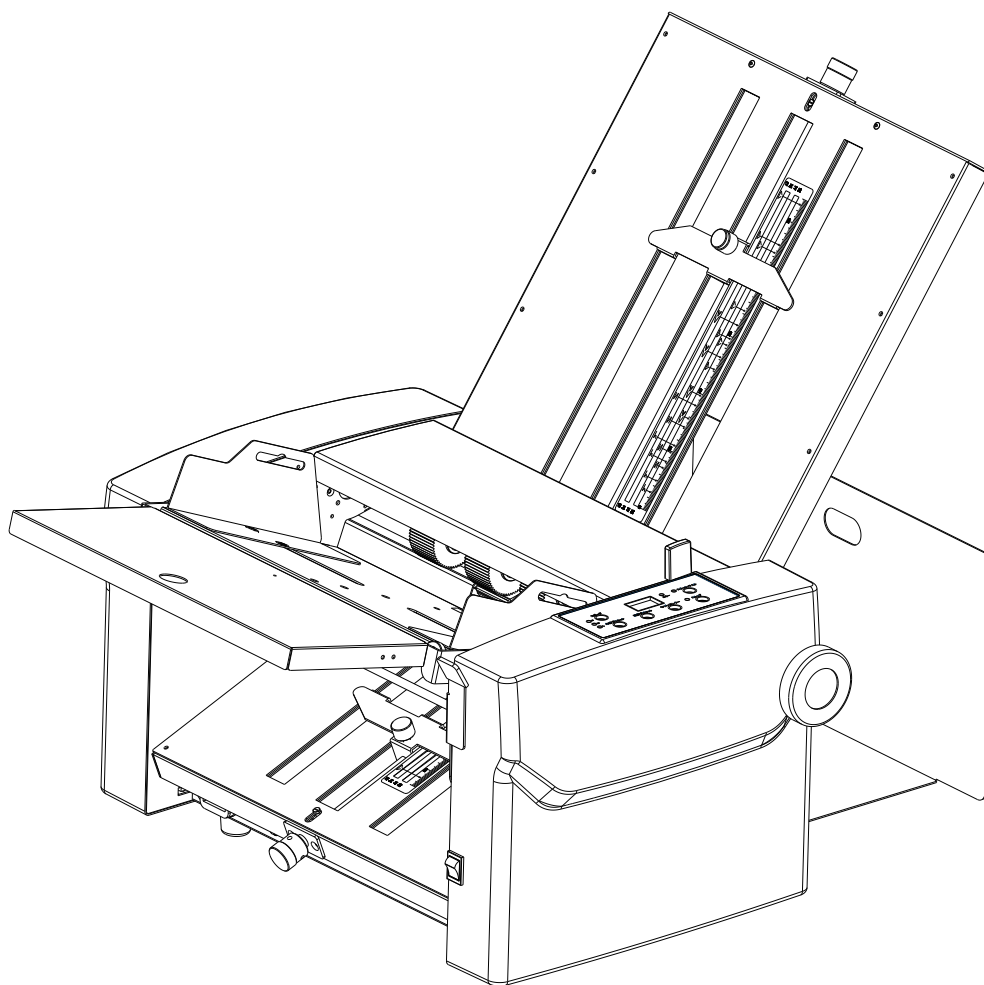
# 取扱説明書

## **NIPPO®**

### 自動紙折り機 NP200

このたびは、ニッポー自動紙折り機NP200をお買い上げいただき、ありがとうございました。

安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに、大切に保管してください。



#### ◎仕様

- 用紙サイズ : A5～A3(A5四つ折り・とじ込み折り不可)  
紙質 : PPC用紙(普通紙、上質紙: 50g/m<sup>2</sup>～128g/m<sup>2</sup>)  
写真印刷など印刷が濃い用紙などでは正常に折れない場合がございます。  
用紙積載量 : 最大300枚(64g/m<sup>2</sup>の場合)  
紙折り速度 : A4判上質紙二つ折り時 約120～150枚/分  
排紙方式 : 自然落下方式  
電源 : AC100V 50/60Hz(消費電力: 70W)  
機械の大きさ : 収納時: 本体330(幅)455(奥行き)300(高さ)mm  
使用時: 設置610(幅)455(奥行き)525(高さ)mm  
重量 : 約18.5kg

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ず本書をお読みください。  
また、本書はいつでもご覧になれる所に保管してください。  
この説明書は、お客様やまわりの人への危害、生命の安全、または財産への損害を未然に防止するために、危険をとまなう操作やお取り扱いについて警告表示や注意表示をおこなっています。  
内容をよくご理解のうえでお使いください。



## 警告

誤った取り扱いにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電源コードは必ずプラグ部分を持って抜き差しをおこなってください。  
感電や発熱による発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。  
感電や発熱による発火の原因になります。
- 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。  
感電や発熱による発火、異常動作をしてけがをするなどの原因になります。
- 製品に水をかけたり、濡れた手で運転操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。  
感電の原因になります。
- 製品の移動やお手入れは、電源プラグ、紙折りテーブルを外しておこなってください。  
紙折りテーブルの落下などによって思わぬけがをしたり、感電の原因になります。
- アース線を接続せずに、使用しないでください。  
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災・感電の原因になります。  
アース接続できない場合は、専門の工事業者にご依頼ください。
- アース線を電源コンセントに差し込まないでください。  
アース線はアース端子以外には接続しないでください。火災・感電の原因になります。

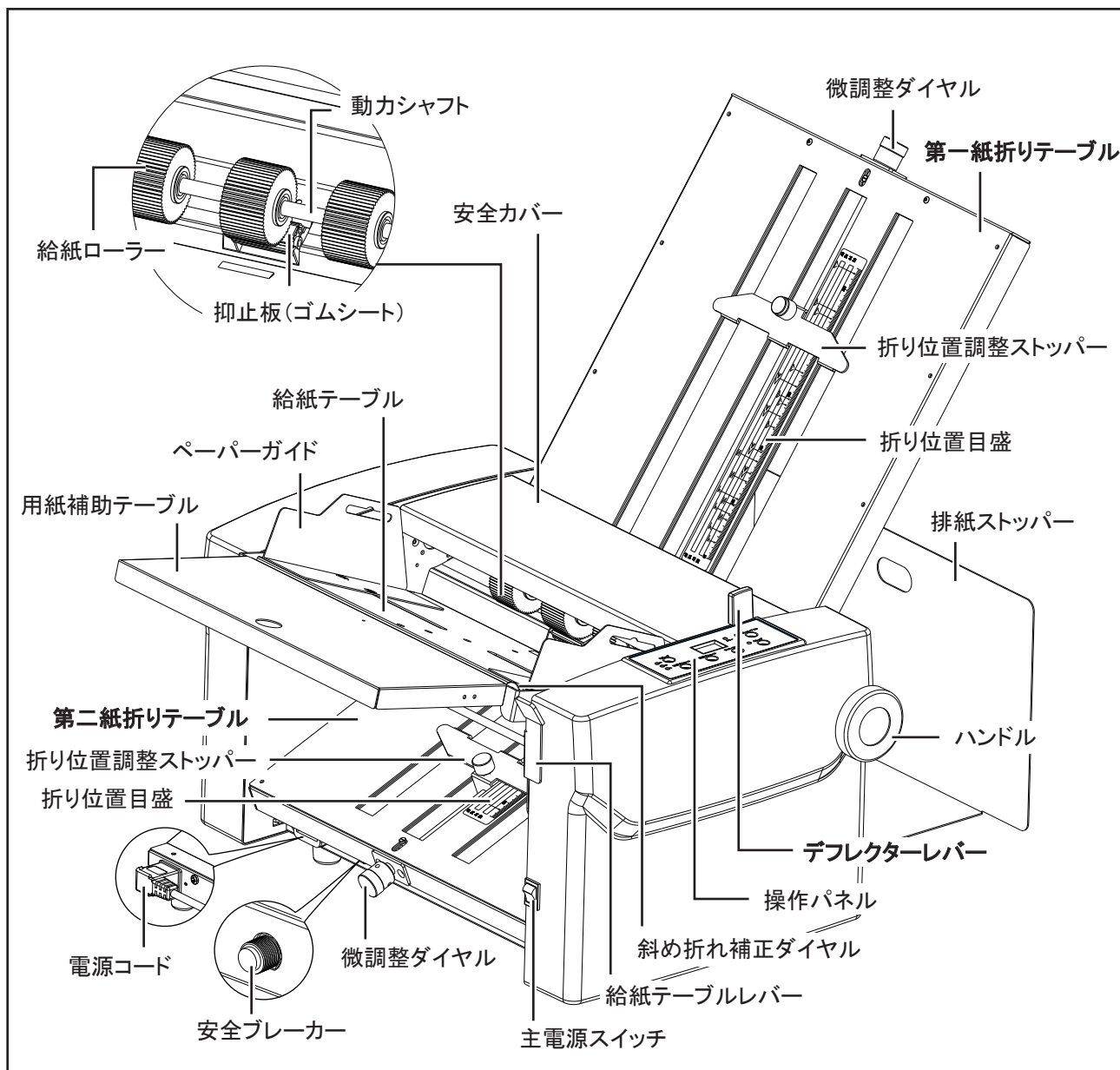


## 注意

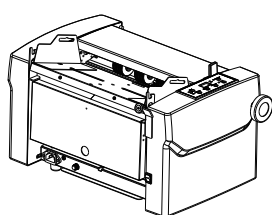
誤った取り扱いにより、人が傷害を負う可能性および物質的損害の可能性が想定される内容を示しています。

- 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。プラグは傷めないように保管してください。  
コードを引っ張ってつけたり、コンセントの差し込みがゆるんだりホコリが付いていると、感電やショートの原因になります。
- 紙折りをおこなっている最中は、ローラーや紙折り途中の用紙に触らないでください。  
ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙折りテーブルを外した状態で電源を入れないでください。  
ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙詰まりの解除や、ローラーに近づいたり触ったりする場合は、必ず電源を切ってください。  
急に動作を開始して、回転に巻き込まれたり、高速で移動中の用紙にぶつかったりして、思わぬけがをする場合があります。
- 動作中に、紙詰まりや異物によるロック状態や異常音が発生した場合は、速やかに電源を切ってください。  
放置したままにしておきますと、本体の破損や寿命に影響したり、発熱したりして、思わぬ被害が発生する場合があります。
- 本体の設置は、十分な広さや強度の安定した机の上でおこなってください。  
本体が落下してけがをしたり、本体を破損したりする場合があります。
- 本体は、強度のない机や不安定な机、せまい机、滑りやすい机に設置しないでください。  
本体部品にぶつかって思わぬけがをしたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 本体の上に物を置いたり、本体の上に物を吊るしたりしないでください。  
落下した物が、ローラーに巻き込まれて損害を与えたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 電源コードは同梱の物を使用し、本製品以外に使用しないでください。  
故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所でのご使用は避けてください。  
本体に影響を与えたり、紙折り動作ができなかったり、本体の寿命に影響を与えたりする場合があります。
- 精密機械の近くでのご使用や、ラジオ、テレビの近くでのご使用は避けてください。  
電波障害により、周辺機械に影響を与える場合があります。

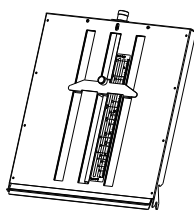
# 各部名称



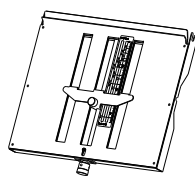
## ● 梱包内容の確認



本体



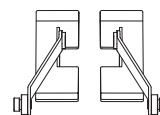
第一紙折り  
テーブル



第二紙折り  
テーブル



ハンドル



クロス折りアーム  
左・右



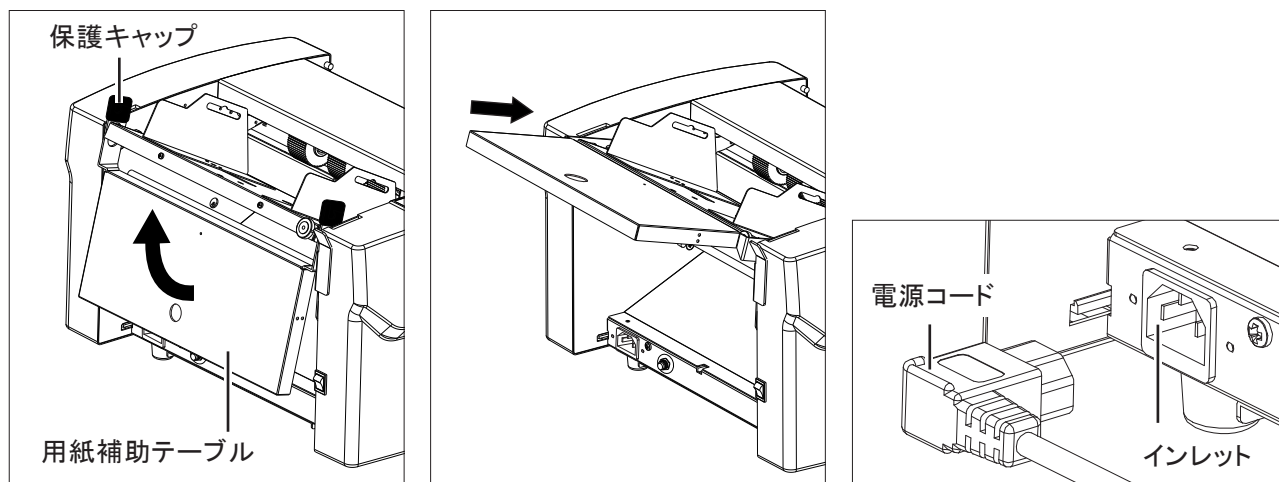
電源コード



- ・L型六角レンチ
- ・取扱説明書(本書)
- ・保証書

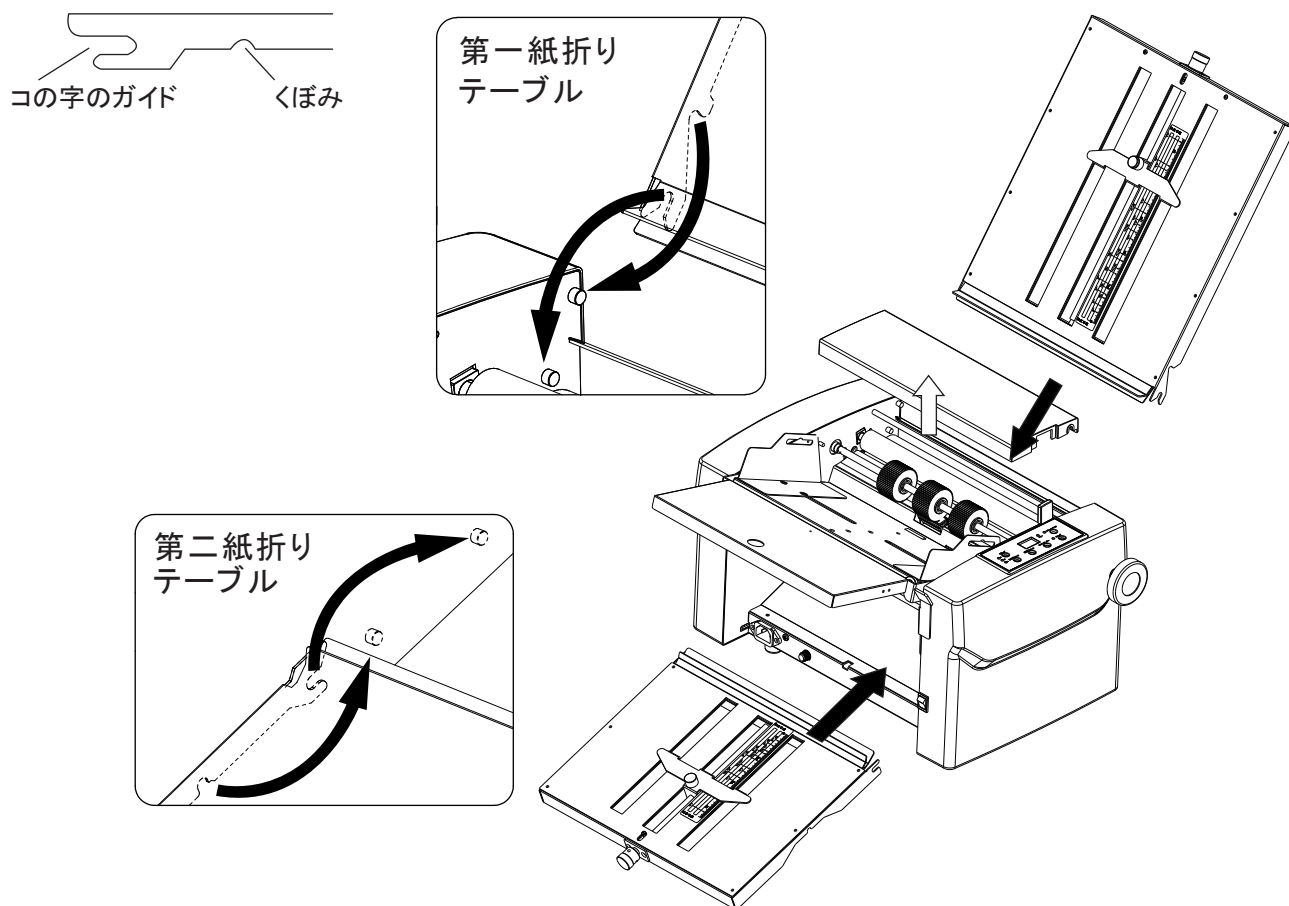
## 操作前の準備

- ① 本体を梱包している緩衝材などを取り外してください。
- ② 保護キャップを外し、用紙補助テーブルを矢印のように持ち上げてから差し込みます。
- ③ 主電源スイッチがOFFになっていることを確認し、電源コードをつなぎます。



- ④ 安全カバーを外し、第一、第二紙折りテーブルを本体に取り付けます。

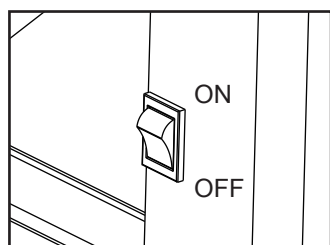
軸の位置を間違えないように、奥まで確実にはめ込んでください。  
コの字のガイドに奥の軸を入れて、くぼみに手前の軸をはめます。



- ⑤ 安全カバーを本体に戻し、アース線を接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

## 操作方法

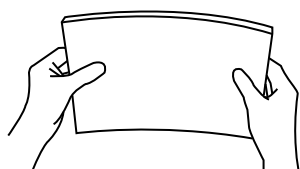
### 1 電源を入れます



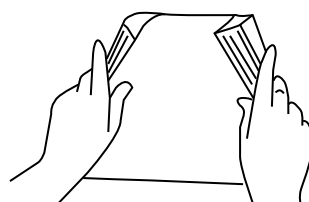
主電源スイッチをONにしてください。

### 2 紙のさばき方

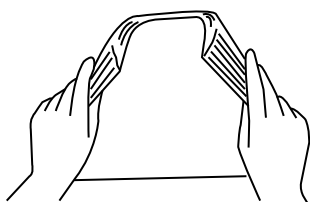
スリップや重送などを防ぐため、用紙を折る前に必ず「紙さばき」を行ってください。



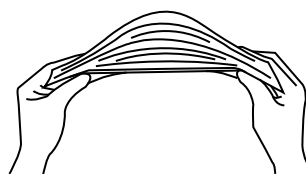
① 用紙を重ねて持ちます。



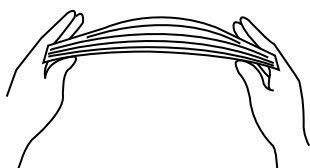
② 両側から用紙を内側に曲げ。用紙の広がった部分を人差し指で押えます。



③ 人差し指で押えたまま、親指で内側の用紙を押えます。



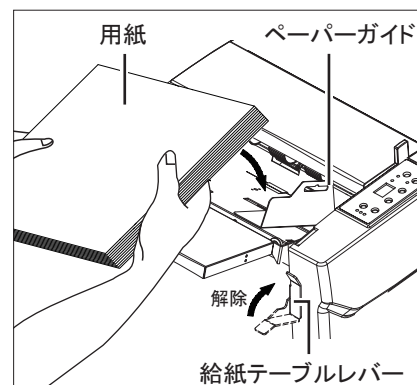
④ 人差し指・親指で用紙を押えたまま用紙を立てると、上の画像のように用紙と用紙の間にすき間ができ、空気が入り、用紙がさばけます。



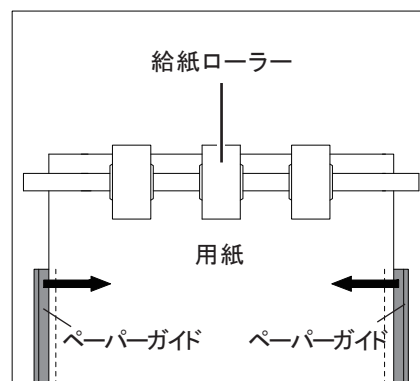
⑤ そのまま落して用紙を揃えます。逆側も同じように①～⑤の順でさばいて下さい。

## 3 用紙をセットします

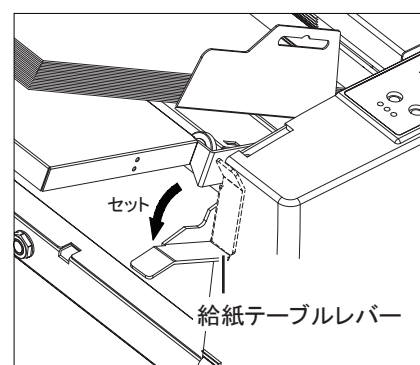
- ① 給紙テーブルレバーを矢印方向に戻して上げてください。用紙を給紙テーブルにセットしてください。



- ② 用紙がずれないように、ペーパーガイドが用紙の側面に密着するように当ててください。

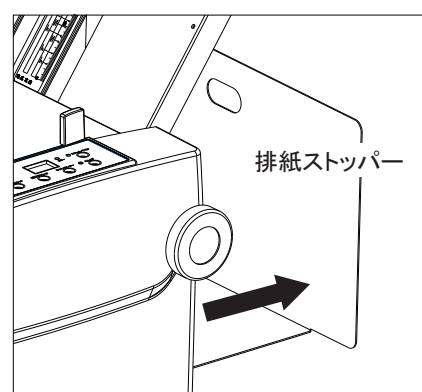


- ③ 給紙テーブルレバーを矢印方向に下げてセットの位置にしてください。



## 4 排紙ストッパーを引き出します

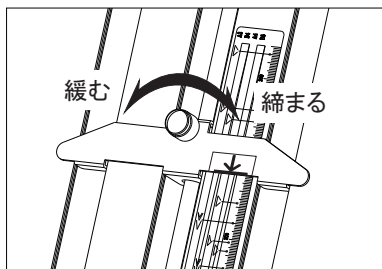
引き出し量は用紙サイズ及び折り方でご調整願います。折られて排出された用紙がいっぱいになる前に、用紙を取り除いてください。紙詰まりが発生する可能性があります。



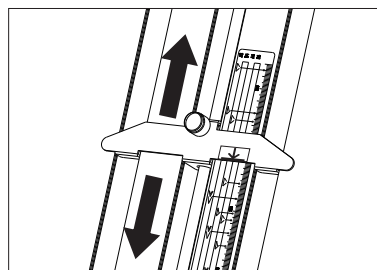
## 操作方法

### 5 ストッパーを調整します

第一・第二紙折りテーブルの目盛の位置に折り位置調整ストッパーを合わせてください。



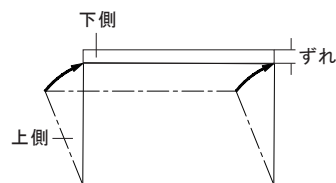
① 折り位置調整ダイヤルを緩めてください。



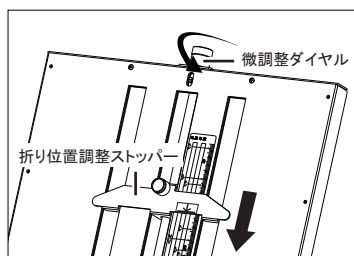
② 折り位置調整ストッパーをスライドさせ、目盛にストッパーが平行になる様に合わせて締めます。平行でないと横折りズレの原因となります。

### 折り位置の微調整方法

連続折りを行う前にテスト折りでズレを微調整してください。  
右図は折られて排出された用紙の上側の折り幅が小さい場合です。

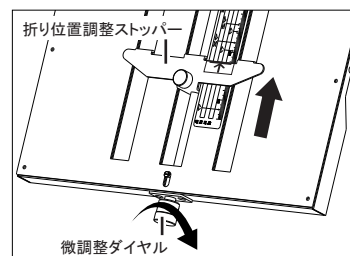


#### 【第一紙折りテーブル】



用紙の下側の折り幅が小さい場合、微調整ダイヤルを矢印方向に回すと、ストッパーは矢印方向に移動します。下側の折り幅が大きい場合は、逆方向に回します。

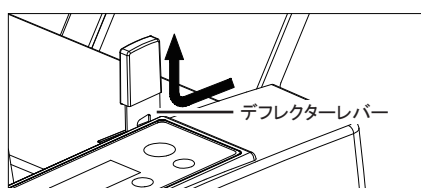
#### 【第二紙折りテーブル】



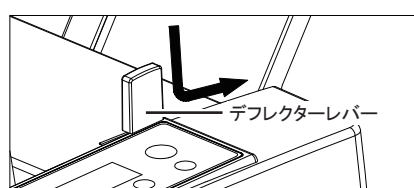
用紙の上側の折り幅が小さい場合、微調整ダイヤルを矢印方向に回すと、ストッパーは矢印方向に移動します。上側の折り幅が大きい場合は、逆方向に回します。

### 6 デフレクターレバーを切り替えます

折り方の種類によってデフレクターレバーを切り替えてください。



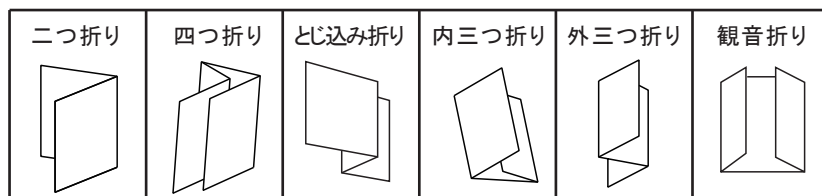
【二つ折り以外の場合】  
デフレクターレバーを引き上げてください。



【二つ折り・クロス折りの場合】  
デフレクターレバーを押し下げ、しっかりロックされるまで右にスライドしてください。

# 操作方法

## 折り方の種類と折り位置 I



テーブル	第一紙折りテーブル(上側紙折りテーブル)					第二紙折りテーブル(下側紙折りテーブル)					
	用紙	A3判	B4判	A4判	B5判	A5判	A3判	B4判	A4判	B5判	A5判
折り方	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号
二つ折り	210 <	182 <	148.5 <	128.5 <	105 <	デフレクターレバーを押し込みます。					
四つ折り	210 ≪	182 ≪	148.5 ≪	128.5 ≪	—	105 ≪	91 ≪	74.3 ≪	64.3 ≪	—	
とじ込み折り	105 >	91 >	74.3 >	64.3 >	—	105 >	91 >	74.3 >	64.3 >	—	
内三つ折り	280 ∩	242.7 ∩	198 ∩	171.3 ∩	140 ∩	140 ∩	121.3 ∩	99 ∩	85.6 ∩	70 ∩	
内三つ折り プラス	—	—	215 ∩ <sup>+</sup>	—	—	—	—	99 ∩ <sup>+</sup>	—	—	
外三つ折り	140 ≧	121.3 ≧	99 ≧	85.6 ≧	70 ≧	140 ≧	121.3 ≧	99 ≧	85.6 ≧	70 ≧	
外三つ折り プラス	—	—	82 ≧ <sup>+</sup>	—	—	—	—	99 ≧ <sup>+</sup>	—	—	
観音折り	315 ▽	273 ▽	222.8 ▽	192.8 ▽	157.5 ▽	210 ▽	182 ▽	148.5 ▽	128.5 ▽	105 ▽	
クロス折り (2回折り)	148.5	128.5	105	—	—	デフレクターレバーを押し込みます。 必ずクロス折りアーム右・左を取り付けてください。					

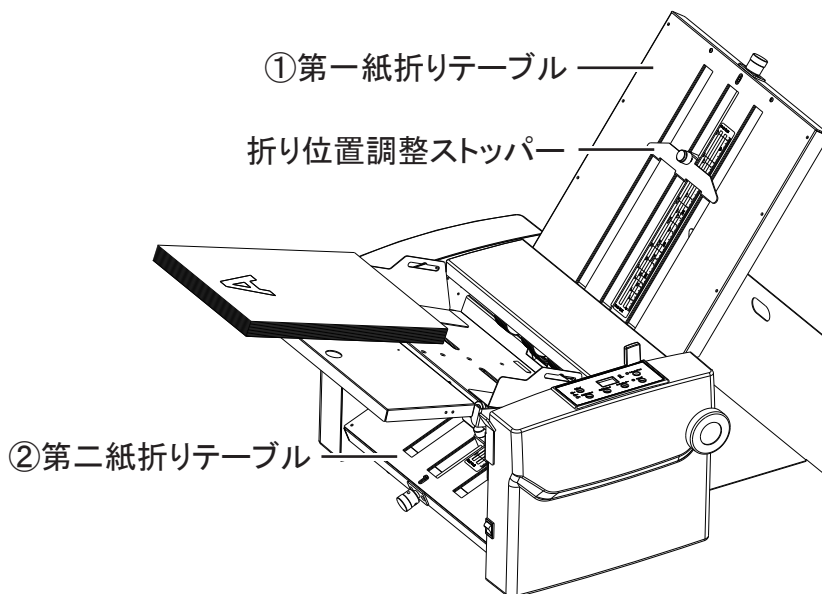
※折りのストッパー位置のガイドラインはあくまで参考用です。  
紙質や印刷状態などによっては、ストッパー位置を調整する必要があります。  
テスト折りであらかじめ折位置調整ストッパーの微調整、確認を行ってください。



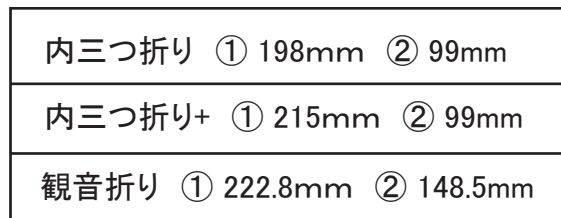
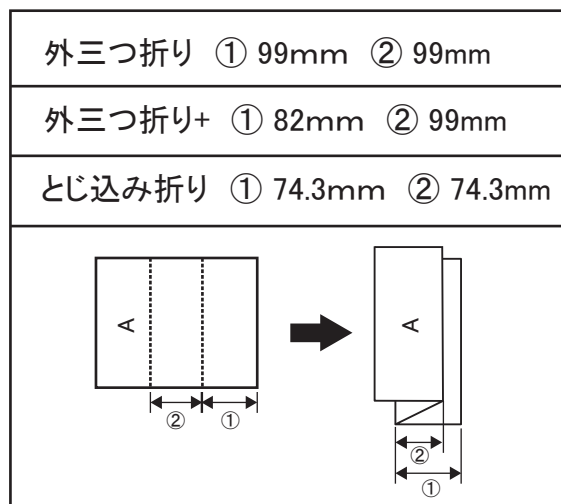
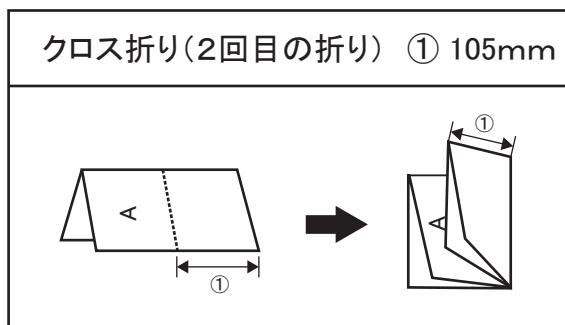
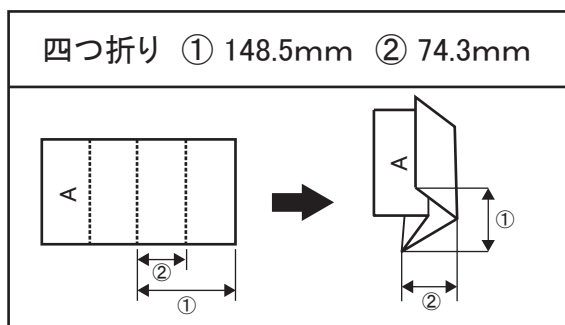
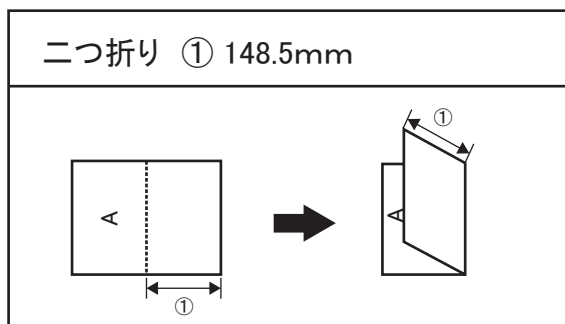
# 操作方法

## 折り方の種類と折り位置Ⅱ

- 折り位置及び寸法は「A」の文字が記入されている面が上向きにセットされた場合を示します

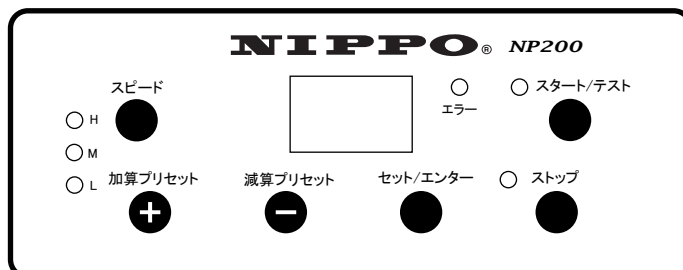


### 折り位置調整ストッパー①、②の設定 (A4:210x297mm)



## 操作方法

### 8 カウンター設定



#### Step1



セット/エンターを押します



表示板

--- (点滅)

設定待ち状態

#### Step2

加算の場合 加算プリセット  
減算の場合 減算プリセット

どちらか  
選択します



表示板

050 (点滅)

初期設定数 :「050」

#### Step3

か を押して、  
折り枚数をセットします



軽く押すと1ずつ増加(減少)  
長押しすると早送り増加(減少)します  
\*範囲は000から999まで

#### Step4



セット/エンターを押して、  
セット完了



加算の場合

000

(カウントアップします)

減算の場合

050

(カウントダウンします)

# 9 スピード設定



スピードを押すと速度変更できます。

紙折りをを行っている最中は変更できません。  
スピードはH(高) M(中) L(低)3段設定可能、  
紙質によって、スピードを調整してください。

### スピード設定参考

薄い(軽い)紙 ⇒ 低速  
厚い(重い)紙 ⇒ 高速

# 10 連続折りモード

※枚数をセットしない場合に便利です。



セット/エンターを押してから、



ストップを押すと、

表示が000となり、連続モードになります。

# 11 テスト折り



スタート/テストを長押しして、1枚テスト折りします。(ビープ音3回)

※テスト折りの用紙枚数はカウントしません。  
折りストッパー位置のガイドラインはあくまで目安となります。  
紙質や印刷状態などによっては、ストッパー位置を調整する  
必要があります。本番折りの前に、テスト折りで折ズレがない  
ようにあらかじめストッパー位置の微調整、確認を行ってください。

# 12 紙折り開始



スタート/テストを軽く押して、紙折り開始します。

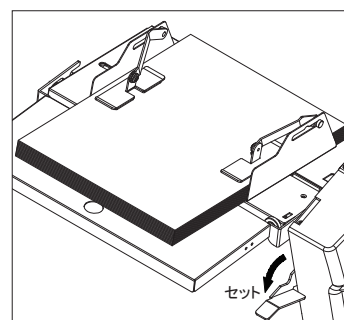
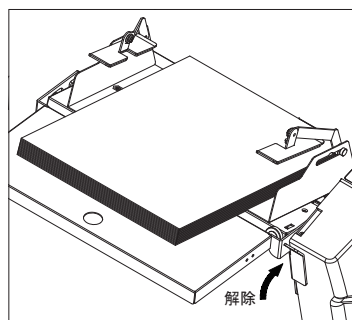
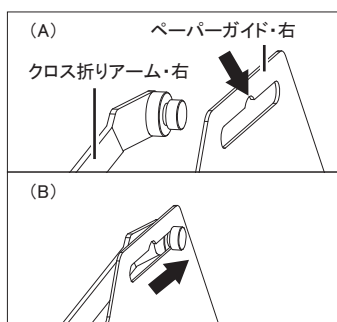
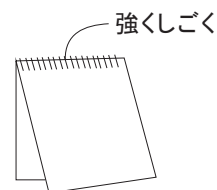


ストップボタンを押すと、紙折り停止します。

# クロス折りの操作方法 / エラーコード表

## クロス折り

※クロス折りでの用紙積載量は50枚以下でご使用ください。  
 ※2回折りをする場合は折り目を強くしごいてから、きれいに用紙を揃えて給紙テーブルにセットしてください、



- ①ペーパーガイドにクロス折りアームを取り付けます。  
 (A)アームの突起をガイドの内側から真ん中の穴に入れます。  
 (B)アームを矢印方向に移動します。
- ②給紙テーブルレバーを上げ、クロス折りアームを上げて、用紙をセットします。
- ③ペーパーガイドを移動し、用紙の側面に密着するように当て、クロス折りアームを下ろします。給紙テーブルレバーを下ろします。

## エラーコード表

エラー表示	エラー内容	原因と処置
-01	用紙切れ	原因：用紙が切れています。 処置：給紙テーブルに用紙があるか確認してください。用紙を補給してください。  原因：用紙検出エラー。 処置：一番下に、一枚白紙を入れてください。
-02	紙詰まり / 給紙されず	<b>【紙詰まり】</b> 原因：内部に紙が詰まっています。 処置：電源を切って、詰まっている紙や紙片などを取り除いてください。  <b>【給紙されず】</b> 原因：正常に給紙されていません。 処置：紙さばき、用紙ガイド設置し直し、抑止板圧・スピードなどを調整してください。  原因：カウンターセンサー検出エラー 処置：① 太陽光の当たらない場所で設置してください。 ② センサーをエアダスター等で清掃してください。
-03	安全カバーエラー	原因：安全カバーが外れています。 処置：安全カバーをきちんと装着し直してください。

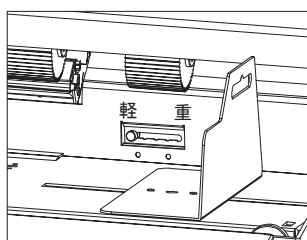
※処置をしてストップボタンを押してもエラーが出る場合は電源をオフにして、お手数ですがお客様センターまでお問い合わせ願います。

## 操作方法 - 微調整

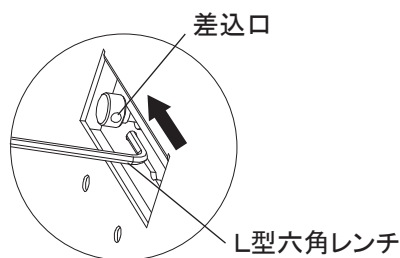
### 抑止板圧の微調整方法

用紙が重送したり、給紙ローラーが空回りして給紙しなかったりする場合は、最適な給紙になるように抑止板圧を調整してください。工場出荷時は左から3段目に調整されています。

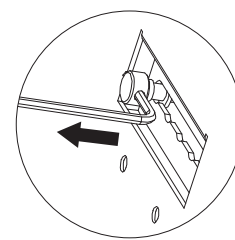
抑止板圧の調整は給紙ローラーを取り外してからおこなってください。  
(給紙ローラーの取り外し方は12ページを参照してください。)



①抑止板の押し圧は、軽い荷重(左)から重い荷重(右)の方に4段階調整できます。



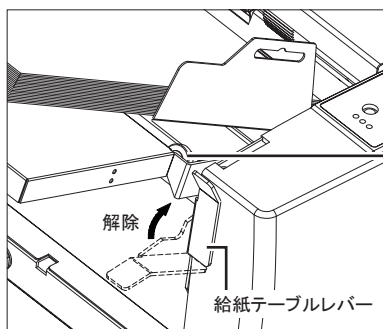
②L型六角レンチを使用して、丸型金具の側面にある穴に差し込みます。



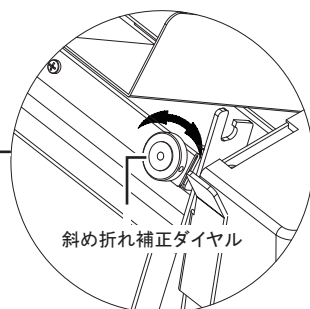
③丸型金具を引き上げるように、望む位置に移動させます。

### 斜め折れの微調整方法

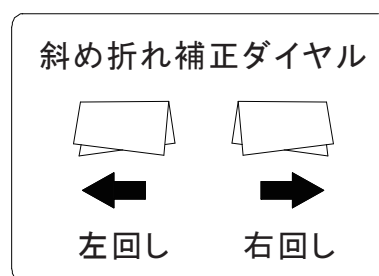
用紙が斜めに折れる場合は、給紙テーブルにある斜め折れ補正ダイヤルで調整してください。



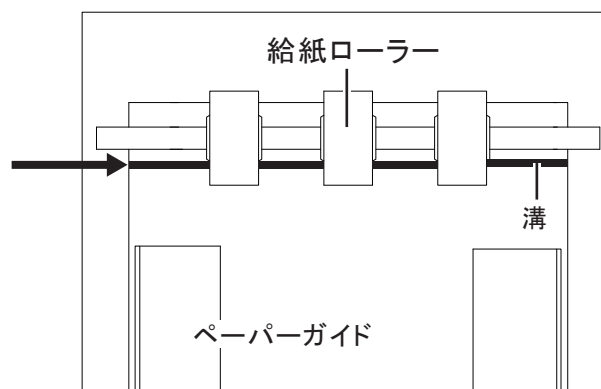
①給紙テーブルレバーを矢印方向に戻してください。



②用紙が斜行した方向と斜め折れ補正ダイヤルの回転方向を確認しながら、ダイヤルを回してください。  
※ダイヤルが重くなったら、無理に回さないでください。

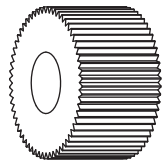


斜め折れ補正ダイヤルで溝を平行にします。  
※ダイヤルを回すと、給紙テーブルが動きます。

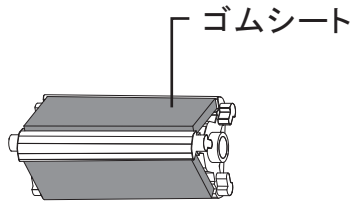


## サプライ品と交換方法

### サプライ品



給紙ローラー



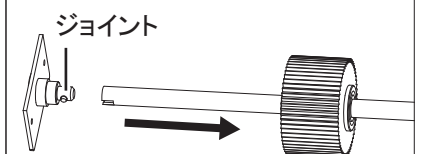
抑止板のゴムシート

### サプライ品の交換方法

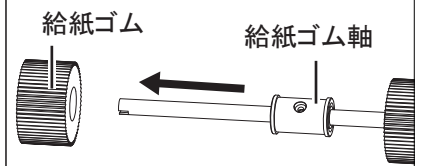
給紙ローラーとゴムシートは消耗部品です。給紙ローラーやゴムシートが消耗して、給紙力が落ちてうまく給紙できなくなったら、新しい物と交換してください。

#### 【給紙ローラーの交換方法】

① 給紙ローラーを交換する場合には、電源を切って安全カバーを外してから、動力シャフトを図のように矢印方向に押し込んで本体の動力シャフトのジョイントから手前に外します。

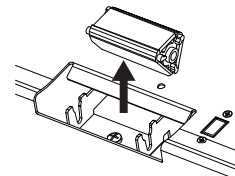


② 動力シャフトから給紙ローラーを取り外し、新しい給紙ローラーに交換します。また、給紙ローラーを再び取り付ける場合には、ジョイントへ確実に結合します。



#### 【抑止板の交換方法】

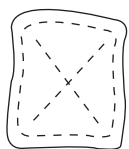
抑止板は3面使えます。抑止板の交換や、面を変える場合には、本体から動力シャフトを取り外してから抑止板を図のように持ち上げて交換や、面を変えてください。



### ローラーの清掃方法

紙粉や印刷物のインクなどの汚れが付着すると、紙詰まりを起こす原因となります。定期的にクリーニングをおこなってください。

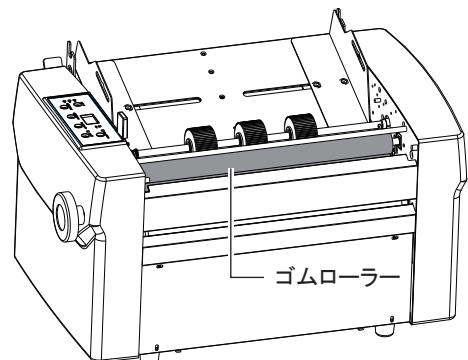
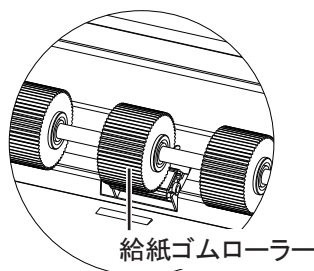
- ① 電源プラグを抜いて、第一、第二給紙テーブル、安全カバーを取り外します。
- ② きれいな布にアルコールを含ませ、手でゴムローラーを回転させながら拭いて下さい。



きれいな布



アルコール



## 故障かなと思ったら

故障かなと思ったら修理を依頼する前に、まず下記の内容をご確認ください。

- 用紙の紙質、サイズ、重さ、印刷インクの状態などによって、正しく折ることができない場合があります。また、折り線やシワのある用紙なども正しく折ることができません。
- 下の表に従って対処を行っても、症状が軽減されない場合や解決できない場合は、電源を切ってからお買い上げの販売店、もしくは、お客様センター、最寄の営業所までご連絡ください。

状 況	確認内容	対処方法
ボタンを押してもモーターが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグが差し込まれていますか？</li> <li>●エラー表示されていませんか？</li> <li>●プレーカーが落ちていませんか？ (落ちると黒いボタンが飛び出します)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ●電源プラグを差し込んでください。</li> <li>⇒ ●エラー表示された問題に対処してください。</li> <li>⇒ ●プレーカーボタンを押して、1分間ぐらい待ってから再起動してみてください。</li> </ul>
用紙が数枚重なって給紙する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●印刷インクや静電気などで用紙がくっついていませんか？</li> <li>●カタログなどの用紙ですか？</li> <li>●抑止板圧を軽い方向に調整していませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ●用紙をよく裁いてから給紙テーブルにセットしてください。</li> <li>⇒ ●光沢紙を折る場合は、枚数を少なくしてください。</li> <li>⇒ ●抑止板圧を重くする方向(右)に調整してください。</li> </ul>
用紙が詰まる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●2～3枚を一緒に給紙していませんか？</li> <li>●内部に紙片や異物が詰まっていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ●上と同じ対策をおこなってください。</li> <li>⇒ ●電源を切って、紙折りテーブル内、ローラー内、本体内部のテーブル付近を探して、異物を取り除いてください。</li> </ul>
給紙スリップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カタログなどの用紙ですか？</li> <li>●給紙テーブルに300枚以上の用紙をセットしていませんか？</li> <li>●抑止板圧を重い方向に調整していませんか？</li> <li>●ローラーが汚れていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ●光沢紙を折る場合は、枚数を少なくしてください。</li> <li>⇒ ●用紙の枚数を減らして再セットしてください。</li> <li>⇒ ●抑止板圧を軽くする方向(左)に調整してください。</li> <li>⇒ ●ローラーを清掃してください。</li> </ul>
シワになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●内部に紙片や異物がつまっていますか？</li> <li>●用紙のセットが不揃いになっていませんか？</li> <li>●ローラーが汚れていませんか？</li> <li>●抑止板のゴムシートが摩耗していませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ●電源を切って、異物を取り除いてください。</li> <li>⇒ ●用紙をよく揃えて、ペーパーガイドに正確に合わせてセットしてください。</li> <li>⇒ ●ローラーを清掃してください。</li> <li>⇒ ●抑止板のゴムシートを交換してください。</li> </ul>
スタートすると、-02エラーが表示される	<ul style="list-style-type: none"> <li>●紙詰まりはなく、すぐにエラーが発生していますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ ●機器を赤外線(太陽光)の当たらない場所で設置してください。 カウンターセンサーをエアダスターなどで清掃してください。</li> </ul>

# ニッポー株式会社

〒154-0001

東京都世田谷区池尻三丁目11番6号 MUTOH第2池尻ビル

ニッポー株式会社ホームページ

<http://www.techno7.co.jp/nippo/>

お客様センター  0120-977-210

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

土・日・祝祭日・会社特別休日を除く

- 本機についてのお問合せ、修理などの際は、お買い上げの販売店、もしくは、お客様センター、最寄りの営業所までご連絡ください。